

平成29年度大磯町教育委員会第1回定例会議事録

1. 日 時 平成29年4月20日（木）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前9時55分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎4階 第2委員会室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長
曾 田 成 則 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
濱 名 三代子 委員
長 嶋 徹 委員
仲手川 孝 教育部長
宮 代 千 秋 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
森 田 敏 幾 参事（政策担当）
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
佐 川 和 裕 参事（歴史・文化担当）
山 口 章 子 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
早 崎 薫 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 2名
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第1号 大磯町郷土資料館本館の臨時休館について
8. 報告事項
報告事項第1号 平成29年度学級編制及び教職員の配置状況について
報告事項第2号 平成28年度大磯町立中学校の生徒進路状況について
報告事項第3号 大磯町指定民俗資料「高麗の山神輿」の実施について
報告事項第4号 第6回大磯チャレンジライブの実施結果について
報告事項第5号 旧吉田茂邸落成記念式典及び内覧会の実施結果等について
報告事項第6号 平成29年第1回大磯町議会定例会の概要について
9. その他

(開 会)

教育長) それでは、ただいまから、平成29年度大磯町教育委員会第1回定例会を開催いたします。

本日は委員全員が出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成28年度第12回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成28年度第12回定例会議事録」は、1ページから9ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

教育部長) 一点修正をお願いいたします。議事録の7ページになりますが、中段より下、「報告事項第5号 児童文学講演会『絵本の力 紙芝居の力』の実施結果について」の報告者が生涯学習課長となっておりますが、正しくは図書館長となります。大変申し訳ございませんが、この点について、修正の上、承認いただきたく存じます。

教育長) ただいまの修正についてよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成28年度第12回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、3月定例会開催後の平成29年3月25日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

3月26日、旧吉田茂邸落成記念式典及び内覧会を開催しました。

3月31日、平成28年度末辞令交付式を行いました。教職員7名、町職員3名に退職辞令を交付しました。

4月3日、平成29年度辞令交付式を挙行し、新採用教員6名を含む27名の職員等に辞令を交付いたしました。

4月5日から8日にかけて、町立幼稚園・保育園、小・中学校、分校において、入園式・入学式が開催されました。教育委員の皆様には、辞令交付式及び入園・入学式にご出席いただき、大変ありがとうございました。

今年度の幼稚園、保育園の入園、小・中学校の入学状況等の詳細につきましては、後ほど事務局よりご報告いたします。

4月18日、全国学力・学習状況調査が行われ、町立小学校の6年児童と中学校の3年生徒が、本年度は国語と算数・数学の問題に取り組みました。滞りなく実施することができました。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

次に、3月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事についての報告はございません。本日の報告は、以上でございます。

議案第1号 大磯町郷土資料館本館の臨時休館について

郷土資料館長) 議案第1号 大磯町郷土資料館の臨時休館についてご説明させていただきます。

説明資料の1ページをご覧ください。臨時休館の目的といたしましては、大磯町郷土資料館本館所蔵資料の劣化を防ぎ、殺虫・殺卵・殺菌を目的として燻蒸作業を実施するため、平成29年6月27日から6月30日までと7月2日を臨時に一般公開しない日として設定することについて大磯町教育委員会の承認を求めるものでございます。

燻蒸作業の概要についてご説明いたします。説明資料の2ページをご覧ください。作業の目的といたしましては、収蔵資料の保存のため、燻蒸を行なうものでございます。

燻蒸物件としまして、郷土資料館本館1階の第1収蔵庫、地下の第2収蔵庫、特別収蔵庫、第3収蔵庫および、別棟の東蔵の計5箇所合計2,497㎡を対象といたします。

業務委託につきましては、入札において業務委託先を決定いたします。契約期間は契約締結の日から、平成29年9月11日までといたしますが、燻蒸作業は平成29年6月26日から7月2日までの間に行なうこととします。契約期間が9月までとなっておりますのは、燻蒸作業終了後に虫卵等の培養実験を行なう確認作業に1箇月ほど要するためでございます。

燻蒸方法はガス注入による密閉燻蒸法により行ないます。作業工程は資料「5」の欄に記載しております工程を予定しております。6月26日は月曜日、7月1日は館内整理日のため定休日でございますので、本日ご審議いただく臨時休館につきましては、6月27日から30日までと、7月2日が対象となります。なお、広報等においては、6月26日(月)から7月3日(月)までが燻蒸のため休館と周知する予定でございます。

燻蒸に使用する薬剤に対しての安全確保のため、-郷土資料館敷地全域を、立入禁止区域といたします。

資料3ページは大磯町郷土資料館条例の抜粋です。

質疑応答)

曾田委員) 念のためにお伺いしたいのですが、過去にこのような作業をされて問題があったことはありますか。

郷土資料館長) 燻蒸については、主に殺虫、殺菌を目的としております。実施後にカビ及び虫の培養実験を行ない、確実に死滅したことを確認しておりますので、特に問題があったということは、従来ございません。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第1号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第1号「大磯町郷土資料館本館の臨時休館について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

報告事項第1号 平成29年度学級編制及び教職員の配置状況について

学校教育課長) 報告事項第1号、平成29年度学級編制及び教職員の配置状況についてご報告申し上げます。

資料の1ページをお開きください。平成29年4月5日現在の町立小・中学校の児童・生徒数、学級数になります。

はじめに、上段の表が小学校の通常の学級の状況です。大磯小学校の児童数は875名で、前年度より20名の増、学級数は25で前年度からの増減はありません。国府小学校の児童数は683名で、前年度より2名の減、学級数は21で前年度からの増減はありません。3年生につきましては、2年生までは4学級でした。3年になり通常は40人学級編制で3学級となりますが、指導上の効果を考慮し、指導方法を工夫・改善するために加えて配置された教員を学級担任に充て、35人以下の学級を基準にして編成し、4学級としています。

国府小学校生沢分校は、本年度は5年生が1名、6年生が2名で計3名、5・6年生の複式学級で、学級数のカウントは1となっています。

続いて、下段の中学校の普通学級の状況です。大磯中学校の生徒数は396名で、前年度より7名の増、学級数は12で前年度からの増減はありません。

国府中学校の生徒数は347名で、前年度より10名の増、学級数は10で前年度からの増減はありません。

国府中学校生沢分校は、1年生、2年生が1名ずつ、3年生が6名で計8名、1・2年生の複式学級と3年生の学級で、学級数のカウントは2となっています。

それでは特別支援学級の状況の説明です。大磯小学校は前年度と比較して1名の増、学級数は前年度からの増減はありません。国府小学校は前年度と比較して3名の増です。学級数は3で情緒級の在籍人数が9人となり、9人以上は2クラスとなるため前年度より1学級増となっています。大磯中学校は前年度と比較して1名の増、学級数は2で前年度からの増減はございません。国府中学校は前年度と比較して2名の減、学級数は前年度からの増減はありません。生沢分校は前年度と比較して1名の減、学級数は2で情緒級開設に伴い1学級増となっています。

2ページの幼稚園については、子育て支援課長が説明いたします。

子育て支援課長) 引き続き、「平成29年度町立幼稚園・保育園 園児数及び教職員等の配置状況」について報告させていただきます。

まず、幼稚園ですが、大磯幼稚園の園児数は、平成28年度が151名、平成28年度が135名で16名の減となっております。クラス数は、年少・年中・年長、共に2クラスで合計は6クラスとなります。職員数は、園長1名、教頭1名、一般教諭6名で、うち1名が臨任教諭となります。その他に園務整備

員1名と教育支援員8名、預かり保育士4名となっています。教育支援員については、年少組の補助が2名、その他に支援が必要な園児への加配分として6名。の計21名の体制となっております。

次に、国府幼稚園の園児数は、平成28年度が64名、平成29年度は52名で12名の減となっております。クラス数は、昨年度と同様に各学年1クラスで、合計で3クラスとなります。職員の配置は、園長が国府保育園との兼務で1名、教頭1名、一般教諭3名、うち1名が臨任教諭です。その他に園務整備員1名、教育支援員2名、預かり保育士1名となっています。教育支援員は、年少の補助1名と加配分1名。の計9名の体制となっております。

次に、たかとり幼稚園の園児数は、平成28年度が114名で、平成29年度は、90名で24名の減となります。クラス数は、年少、年中、年長ともに2クラスで、合計6クラスとなり、こちらは国府幼稚園との統廃合の関係もありますので、昨年度と同様のクラス数にしてあります。職員数は、園長が1名、教頭が1名、一般教諭が6名で、うち2名が臨任教諭となっております。その他に園務整備員1名と教育支援員6名、預かり保育士1名となっております。教育支援員は、年少の補助2名、加配分が4名。の計16名の体制です。

3園の合計園児数は、平成28年度が、329名、平成29年度277名で52名の減となっております。クラス数は、全学年が5クラスで、昨年度と変更はありません。

職員数は、園長が3名で、昨年と同様に大磯幼稚園とたかとり幼稚園については再任用の職員となります。次に教頭が3名、一般教諭が15名で、うち4名が臨任教諭となっております。その他に園務整備員が3名と、教育支援員が16名、預かり保育士が6名となっております。

教育支援員については、巡回相談を担当している子ども発達相談員の臨床心理士と調整して、各園への割り振りを決めておりますので、その年の園児の状況により若干変更となっております。

次に保育園ですが、平成28年度が合計で92名、平成29年度が94名ということで、2名の増となっております。また、クラス数は0歳児～5歳児まで各1クラスの合計6クラスです。職員の体制は、園長が国府幼稚園と兼務で1名、園長補佐が1名、一般保育士が24名で、うち18名が臨任保育士となっております。また、今年度より臨時職員のうち5名の職員を任期付職員として採用しております。次に給食調理員が7名で、そのうち2名が任期付き給食調理員となっております。その他に園務整備員が3名の体制で平成29年度をスタートしております。

平成29年度の町立幼稚園・保育園 園児数及び教職員等の配置状況については、以上となります。

学校教育課長) つづいて、3ページをご覧ください。平成29年度大磯町立小・中学校教職員配置状況でございます。

公立学校の教職員の配置につきましては、児童・生徒数に応じて学級数が決まり、その学級数に応じて規定の数の教職員が県教育委員会から配置されます。また、規定外として、例えばティーム・ティーチングなど指導方法の工夫改善を進めるための教員や初任者研修を担当する教員等が各学校に数名配置されますので、これらを合わせた教職員数が表の数字となっております。

小学校全体では 83 名で、前年度と比べて 1 名増、中学校全体では 68 名で、前年度と比べて 2 名減となっています。

平成 29 年度学級編制及び教職員の配置状況の説明は以上です。

質疑応答)

青山委員) 小中学校の児童生徒数のことで、車いすを使われる、支援を必要とされているお子さんはいらっしゃいますか。

学校教育課副課長) 本年度、車いすを使用するお子さんが在籍しております。

支援員の配置を含め、支援について学校とともに考えているところです。

報告事項第 2 号 平成 28 年度大磯町立中学校の生徒進路状況について

学校教育課副課長) 大磯町立中学校の生徒進路状況についてご報告いたします。

まず資料の 1 は、生沢分校を含めた大磯町立学校中学 3 年生 234 名の進路先の状況となります。全員の行き先が予定していた期間内に、表にありますように決定いたしました。

次に 2 をご覧ください。全日制高等学校への進学、公立と私立の割合は、公立高校への進学率が 73.5%、私立高校への進学率が 26.5%であり、平成 27 年度よりも公立高校への進学率が高くなっております。

次に、3 の全日制進学における入試選抜別合格者状況についてご説明いたします。公立の普通科、専門・総合学科に記載しました割合は、母数を全生徒数としたものです。全日制公立の普通科に進んだ生徒が全体の半数以上であり、昨年、一昨年よりも増加傾向にありました。

最後に、表にはございませんが、旧平塚学区とそれ以外の進学状況について補足いたします。1 の表にあります 128 名の公立高校全日制普通科進学者の中で、約 32%がいわゆる旧平塚学区内に進学、約 68%が旧平塚学区外に進学しております。旧学区にこだわらず、県内各地区の高校を受検する傾向が、学区がなくなって 10 年以上を経た今、定着しております。以上でございます。

質疑応答) 質疑なし。

報告事項第 3 号 大磯町指定民俗資料「高麗の山神輿」の実施について

生涯学習課長) 説明資料をご覧ください。高麗の山神輿は高麗地区にある高来神社の春季大祭、一般に植木市として有名でありました高麗寺マチと呼ばれるお祭りにおこなわれる特殊な神事です。もともと高麗寺というお寺の門前市として始まったもので、市の開催に先立ち、神霊を神輿に移して、ふもとから山頂まで担ぎ上げるというたいへん珍しい行事です。平成元年に大磯町指定民俗資料(無形民俗文化財)になっております。行事の執行主体は「高麗 山神輿保存会」で、本年も明日平成 29 年 4 月 21 日の夜に実施されます。

生涯学習課としても、昨年に引き続き支援をいたします。

本年も町指定文化財保存管理交付金を交付したほか、4年前から公募しています山神輿の「親綱の引き手」には、資料には4月12日現在の2名とありますが、本日現在、5名ないし6名の参加予定となっております。

また、本年も、大磯町と東海大学による「包括的な提携業務に関する協定書」に基づいた依頼のうえ、3月29日に東海大湘南キャンパスのスポーツ教育スポーツ課へ、高麗区長、保存会会長、生涯学習課で伺い、あらためて、協力の依頼をしたところです。

協力依頼にあたりましては、例年同様、曾田委員にご配慮いただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

現段階では、東海大学からは柔道部員15名のご協力をいただく予定です。

明日は、午後からあいにく雨の天気予報ですが、事故無く、行事も無事に終わることができるよう、支援してまいります。説明は以上です。

質疑応答)

濱名委員) 東海大学の学生に協力依頼をする前というのはどういう状況だったのですか。

生涯学習課長) 今回4回目の以来となりますが、それ以前については参事より説明いたします。

参事(文化・歴史担当)) 4年前から東海大学の学生さんにご協力いただいているわけですが、それ以前は基本的に地元の方々のみでの執行でした。実際に、もう相当前から親綱という、神輿を引き上げる部分の人手がとても足りないという話は伝わっておりました。地元でも、地元の方々に声をかけて、あるいは、子どもたちにも声をかけてという風にされていたようですけれども、なかなか、人手が集まらないということで、東海大学との提携をきっかけに、東海大学生にご協力をいただけないかと話が進んだと聞いております。

報告事項第4号 第6回大磯チャレンジライブの実施結果について

生涯学習課長) 説明資料をご覧ください。本事業は大磯町青少年指導員連絡協議会の自主事業として例年開催しているもので、今回で6回目となりました。

開催日時は、平成29年3月25日(土曜日)、午後12時50分から5時まで、生涯学習館を会場に実施いたしました。

本年度は町の8月広報にて企画者と出演者を募集いたしました。青少年指導員の助言のもと、基本的には参加者自らの手で、自主的に企画運営をしてもらう方針で進め、4回の企画会議を開催し当日を迎えております。

また、本年度も、昨年度に引き続き、事業運営の一助にするため、町内の企業や店舗に協賛をお願いしたところ、27店舗の協力をいただくことができ、参加者から参加費を徴収せずに、運営をすることができました。

なお、本年度の参加バンドは8組31人、来場者は81人でした。報告は以上です。

質疑応答)

青山委員) このチャレンジライブ、私とても興味深く見ております。子どもたちの活動、発表の場所をいうのを、大人がうまくサポートして作ってあげる、それが健全育成につながると思っていますので、これからもこのチャレンジライブが盛り上がっていければいいなと思っておりますので、青少年指導員の皆さんにもよろしくお伝えいただきたいと思っております。

曾田委員) 念のため伺いたします。青少年というのは町在住者のみですか。あるいは、近隣の子どもたちも参加してよろしいのですか。その点いかがでしょうか。

生涯学習課長) 参加条件としましては、中学生以上で 20 歳以下。町在住、在勤の個人という条件を付けております。なお、バンドメンバーの中で一人でもその条件を満たすのであれば、参加が認められておりますので、今回青少年ということですが、20 歳を過ぎた方も参加されていらっしゃいます。

報告事項第 5 号 旧吉田茂邸落成記念式典及び内覧会の実施結果等について

郷土資料館長) 報告事項第 5 号 旧吉田茂邸落成記念式典及び内覧会の実施結果等についてご説明させていただきます。

説明資料をお開きください。旧吉田茂邸につきましては 1 の趣旨にありますように再建に向けた活動を展開してまいりましたが、平成 29 年 3 月に完成したことから、多くの方々への報告と感謝を表す機会とするために落成記念式典を開催したものでございます。

開催日は平成 29 年 3 月 26 日、第 1 部といたしまして落成記念式典を大磯プリンスホテルで行ない、第 2 部としまして旧吉田茂邸に移動しての内覧会を行ないました。1 部・2 部の内容は資料 4 に記載のとおりで、309 人のご来場をいただきました。

なお、3 月 27 日 (月) ~ 31 日 (金) までは寄附をいただいた方等への内覧期間として、496 人の方がご来訪されました。

そして 4 月 1 日 (土) に一般公開初日を迎え、344 人の入館者がありました。以後多くの方にご来館いただき、4 月 19 日時点で 4 月 1 日からの累計入館者は 9,475 人であり、本日中に 1 万人を超える見込みでございます。

説明は以上でございます。

教育部長) ただいま郷土資料館長の説明にもございましたが、本日中に来館者数が 1 万人を超えるということで、本日午後には 1 万人を超えるものと予測しておりますが、町からもセレモニーということで記念品の贈呈ですとか、そういったものを行うため、職員も待機をする予定でおりますので、委員の皆さんもお時間がございましたら会場にお越しいただきましてらと思っております。

質疑応答)

長島委員) 大変にぎわっているようですが、予測としてはどのくらいの推移でしょうか。

郷土資料館長) 当初、1年間で3万人の有料入場者と予測しておりましたので、その予測をはるかに超える方に来ていただいているという状況です。

報告事項第6号 平成29年第1回大磯町議会定例会の概要について

教育長) 次に、報告事項1件の追加について、ご確認をとりたいと思いますが、事務局より案件の提示をお願いします。

教育部長) 追加でお願いしたい報告事項につきましては、「平成29年度第1回大磯町議会定例会の概要について」。これは3月に行われた議会定例会の概要についてでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育長) ただいま事務局より報告事項追加の提示がありましたけれども、事務局から追加で報告いただくということによろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成29年度第1回大磯町議会定例会の概要について」報告することについてご承認いただきましたので、事務局より説明をお願いいたします。

教育部長) 平成29年第1回大磯町議会定例会の概要についてご報告します。

会期は2月16日から3月21日までの34日間です。

資料の1ページをお開きください。提出議案の一覧でございます。下線が引いてある部分が教育委員会関連で、議案第6号、2ページに移りまして議案第9号、3ページに移りまして議案第14号、4ページに移りまして、追加議案として提出した議案第19号でございます。

議案の審議について、議案番号順にご報告いたします。

5ページをお開きください。議案第6号「教育委員会委員の任命について」でございます。

主な質疑内容は、教育の中立性について十分理解をされているか、また、町長が教育委員を推薦する基準等に関する質疑がありました。

質疑終了後直ちに採決が行われ、賛成多数により可決されました。

続いて6ページをお開きください。議案第9号「平成28年度大磯町一般会計補正予算(第5号)」でございます。

教育委員会関連予算は、7ページから10ページまで、丸印が付いている部分となります。

教育委員会関連の主な質疑内容として、私立幼稚園就園補助金が約270万円減額となった要因に関する質疑がありました。質疑終了後、討論、採決の結果、賛成多数で可決しました。

続いて11ページをお開きください。町長による平成29年度施政方針演説に対する総括質疑でございます。教育委員会関連では4名から合計4問の質問がありました。

始めに11ページの奥津勝子議員からは、重点項目への具体的な対策である「ひとづくり」への具体的な予算づけについて質問があり、町長から教育支援員や指導協力員の協力による児童・生徒指導支援事業の充実、子どもたち

の主体的な学習支援のための小中学校へのコンピューター教育推進事業の充実、大磯中学校3号館大規模改修に向けた調査費等について答弁しました。

次に12ページの坂田よう子議員からは、総合教育会議における検討事項への対応として、学校現場における教員の多忙化について質問があり、町長から教育研究所に教員支援のためのスクール・ソーシャルワーカーの配置や校務用コンピューターの再整備、また部活動問題を検討する委員会の立ち上げについて答弁しました。

次に14ページの鈴木京子議員からは(3)「PTA会費に頼らない教育予算の確保」について質問があり、町長から学校における通常の教育活動に必要な不可欠な予算は町が責任を持って確保する必要があるとあり、平成29年度予算では教育委員会からの予算要望を尊重し措置をしたと答弁しました。

最後に15ページの渡辺順子議員からは(5)「旧吉田茂邸の維持管理費の見通し」について質問があり、町長から吉田茂の業績や近現代史を学べる場としてさまざまな企画を行い集客を図るとともに、教育機関や企業などの研修の場としての活用など、民間の知恵や工夫を取り入れ経営感覚を持ちながら維持管理に当たると答弁しました。

続いて16ページをお開きください。議案第14号「平成29年度大磯町一般会計予算」でございます。

次の17ページが債務負担行為を行う事業で、下線部分が教育委員会関連です。また、18ページから23ページまで、下線部分が教育委員会関連の主な事業です。

本案件は予算特別委員会に付託され、3月1日から9日まで審議されたものの、3月21日の議会最終日に討論、採決された結果、賛成多数で可決しました。

なお、特別委員会での主な質問内容として、(P18)「児童・生徒指導支援事業の指導協力員の配置について」、「中学校の学校給食運営事業について」、(P20)「学校職員公務用コンピュータ整備事業について」、「大磯小学校音楽室空調機整備事業について」、「大磯中学校3号館大規模改修事業について」、「学校図書館運営事業について」、「旧吉田茂邸の維持管理及び運営全般について」それぞれご質問がございました。

続いて24ページをお開きください。

議案第19号「教育委員会の教育長の任命について」でございます。

主な質疑内容は、前教育長の退任理由及び新教育長の教育の中立性等について質疑があり、質疑終了後直ちに採決が行われ、賛成多数により可決されました。

続いて25ページをお開きください。

2月27日、28日に行われた一般質問の概要についてご報告いたします。

教育委員会関連のご質問は、3名から3問のご質問がありました。

始めに、清田文雄議員の2問目「旧吉田茂邸及び大磯町郷土資料館の危機管理体制について」でございます。

町長から、旧吉田茂邸及び大磯町郷土資料館等の危機管理体制は極めて重要な課題であると認識しており、対応につき協議を進めていると答弁がありました。

次に教育長から、まず「（１）旧吉田茂邸の防火体制及び警備体制」として、消防計画を作成し消防設備等の体制を整えている、また、職員の巡視や監視カメラによる確認、夜間の機械警備、さらに夜間も有人警備が行われていると答弁しました。

次に「（２）郷土資料館本館の防火体制及び警備体制」として、リニューアルに伴う新たな消防計画を作成し消防設備の配置替え等を行い、警備体制は警備委託先と協議を行い体制を整えていると答弁しました。

次に「（３）郷土資料館本館の貴重な資料の保存体制」として、消火設備を整え施錠された収蔵庫にて保管をされており、定期的な燻蒸作業等をしていると答弁しました。

次に「（４）公開展示している資料等の警備体制」として、職員の巡視や監視カメラによる警備等により適正な管理に努めていると答弁しました。

最後に「（５）貴重な資源である建造物や資料の危機管理体制」として、町有施設は消防計画や警備計画に基づいた対応を行い、民間所有を含む指定文化財は職員による定期的な巡視点検を行っているとの答弁がありました。

再質問として、旧吉田茂邸の防火体制及び警備体制の具体的な内容や常駐する職員数について、郷土資料館本館の防火体制及び警備体制の具体的な内容について、等の質問がありました。

次に、26 ページをお開きください。玉虫志保実議員の２問目「大磯町立中学校の給食について」でございます。

町長から、学校給食は食育の一環であり、広い視野で食育を学ぶ教育の場として活用することを目標としている。食と健康、さらには病気との関連を子どもたちが学ぶ場となるようなスクールランチをつくっていかねばならないとの答弁がありました。

次に教育長から、まず「（１）教育的要素を取り入れたスクールランチとは」として、どのような栄養や味つけ、量が自分の体にとって必要なのかを考えさせ、将来自分で食事をとるときに正しい判断ができることを目指すため、原則として全員が一緒に同じものをとることで、みんなで食について学ぶ機会にしていきたいとの答弁がありました。

次に「（２）自校式の小学校給食とデリバリー方式の中学校給食の給食費の流れの違い、及び事務職員の負担」につきましては、小学校も中学校も給食費は金融機関から引き落とし集金する点は同じですが、小学校では各学校が直接業者から食材を購入し調理しますが、中学校では給食費を運営委員会にまとめ、町の栄養士が食材を業者に発注し委託業者に納品するという点が異なると答弁しました。また、中学校の事務職員については給食費の徴収管理事務が新たに加わり、教育委員会事務局においては栄養士の事務のほか、保護者や学校との様々な連絡調整事務が新たに加わったとの答弁がありました。

次に「（３）中学生の昼食をより楽しく充実したものに今後できることは何か」につきましては、生徒の意見をよく聞き、味つけや見た目など改善できる点は対応したいとの答弁がありました。

再質問として、献立に関する具体的な質問や要望、盛り付けムラの問題、選択性の導入に関する質問等がありました。

次に、28 ページをお開きください。柴崎茂議員の1問目「教育委員会の問題はなぜ片付かないか、議会の同意を得て任命した教育委員に問題はないか」でございます。

町長から、議会の同意を得て任命した教育委員に問題はないと考えていると答弁がありました。

教育長から、各教育委員は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定された職務権限に基づき真摯に合議し、執行していただいていると答弁しました。また、「ガバナンス上の責任は誰にあるか」については、「大磯町教育委員会関係職員の職の設置等に関する規則」に規定された職務権限に基づき各職員が事務執行し、職員の指揮監督権者は法律の規定で教育長になると答弁しました。

次に「(1) 学校教育課についてはどうか」及び「(2) 生涯学習課についてはどうか」について、「大磯町教育委員会事務局組織規則」の規定に基づき各職員が分掌事務を執行していると答弁しました。

再質問として、平成26年の国府中学校修学旅行問題、中学校給食委託業者との債務負担行為及び郷土資料館リニューアル事業者との関係等について意見がありました。

平成29年第1回大磯町議会定例会の概要報告は以上です。

なお、本会議の会議録は、後日町のホームページに掲載されますので、詳細についてはそちらでご確認いただきたいと思います。以上です。

質疑応答) 質疑なし。

(その他)

事務局) 次回の教育委員会定例会は、5月18日、木曜日、午前9時から、大磯町役場本庁舎4階第1会議室で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成29年度大磯町教育委員会第1回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成29年 5月18日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____